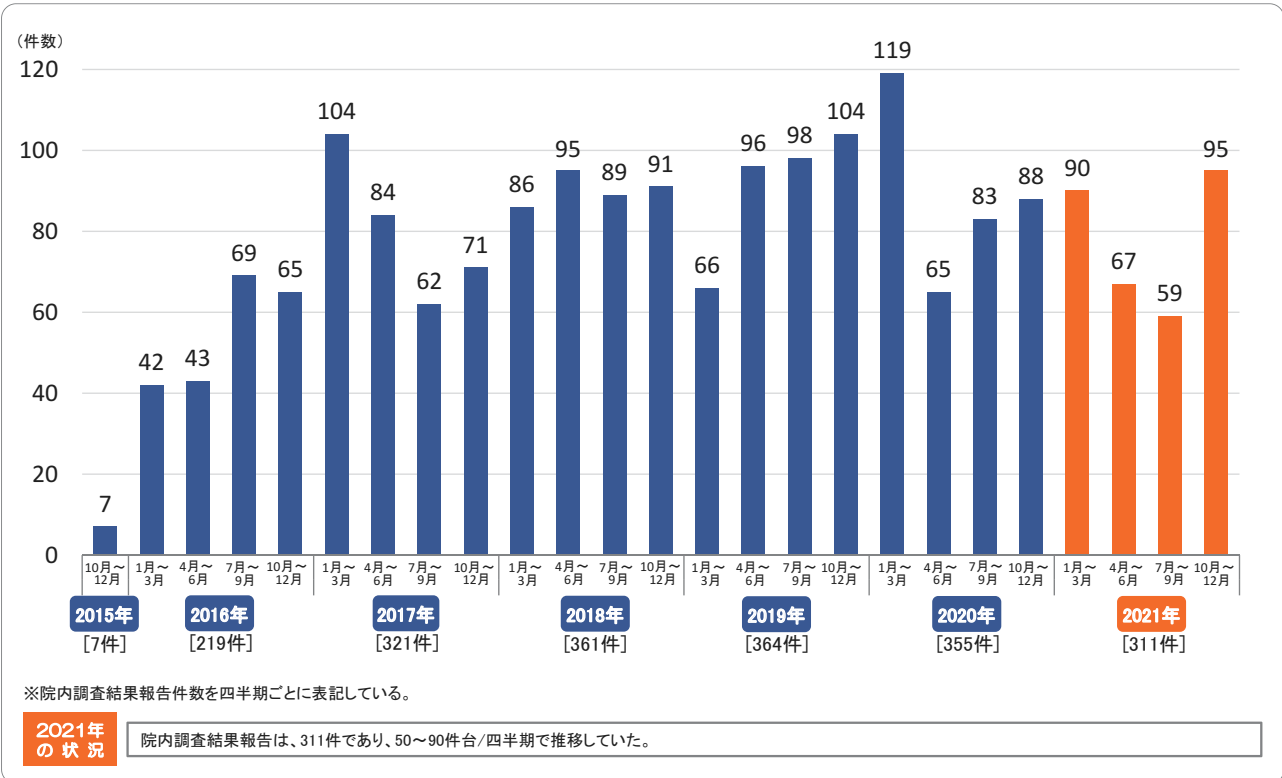
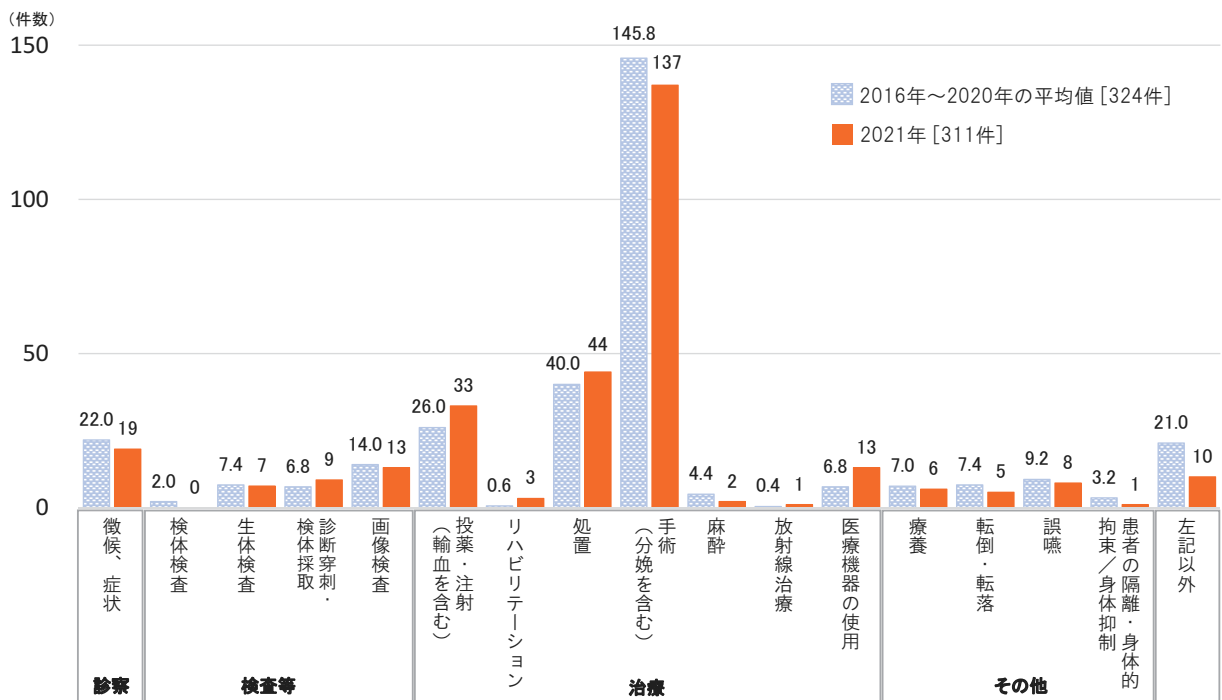


# 院内調査結果報告の状況

## 15. 院内調査結果報告件数の推移 (数値版 参考3-(1)-①参照)



### 16-1. 起因した医療(疑いを含む)の分類別院内調査結果報告件数 (数値版 3-(2)-①参照)

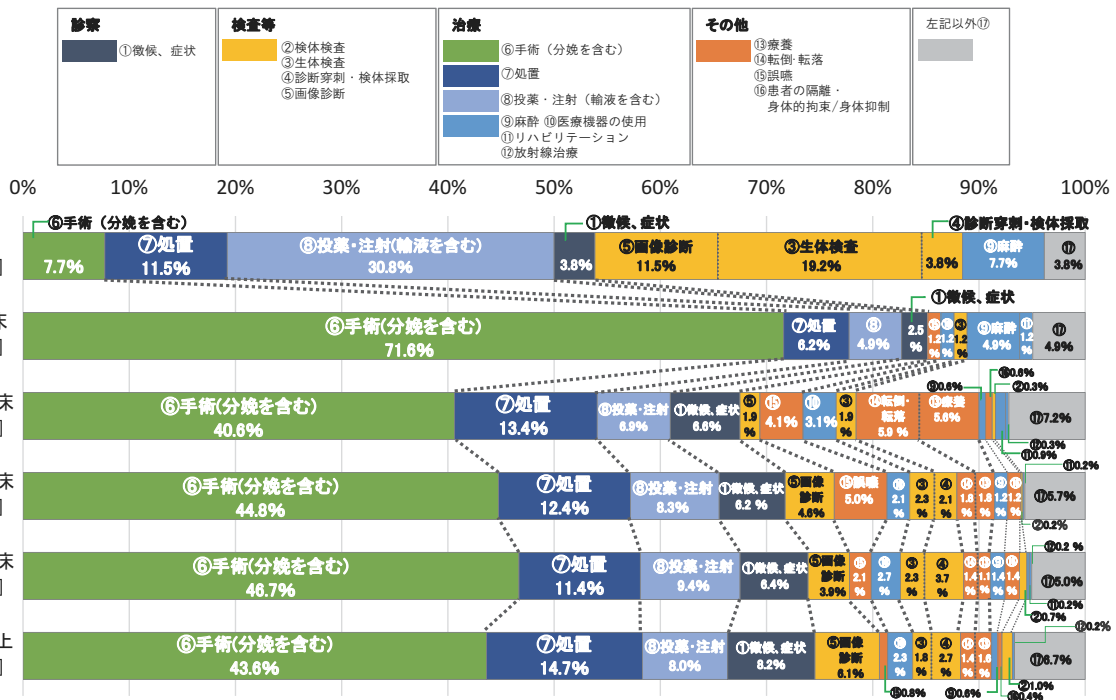


※「起因した医療の分類」は、厚生労働省医政局長通知(平成27年5月8日医政発0508第1号)の別添「医療に起因する(疑いを含む)死亡又は死産の考え方」に基づき、2016年～2017年は医療事故発生報告の内容をセンターが分類、集計したものであるが、2018年1月以降は医療機関から報告された院内調査結果報告の内容に基づき集計している。  
 ※「左記以外」には、院内感染、突然の心肺停止状態での発見等が含まれ、分類困難だったものである。

2021年の状況

起因した医療(疑いを含む)別に分類した院内調査結果報告件数は、「手術(分娩を含む)」が最も多く137件であり、次いで多かったのは「処置」44件であった。

### 16-2. 病床規模別「起因した医療の分類」の割合 (数値版 3-(2)-③参照)

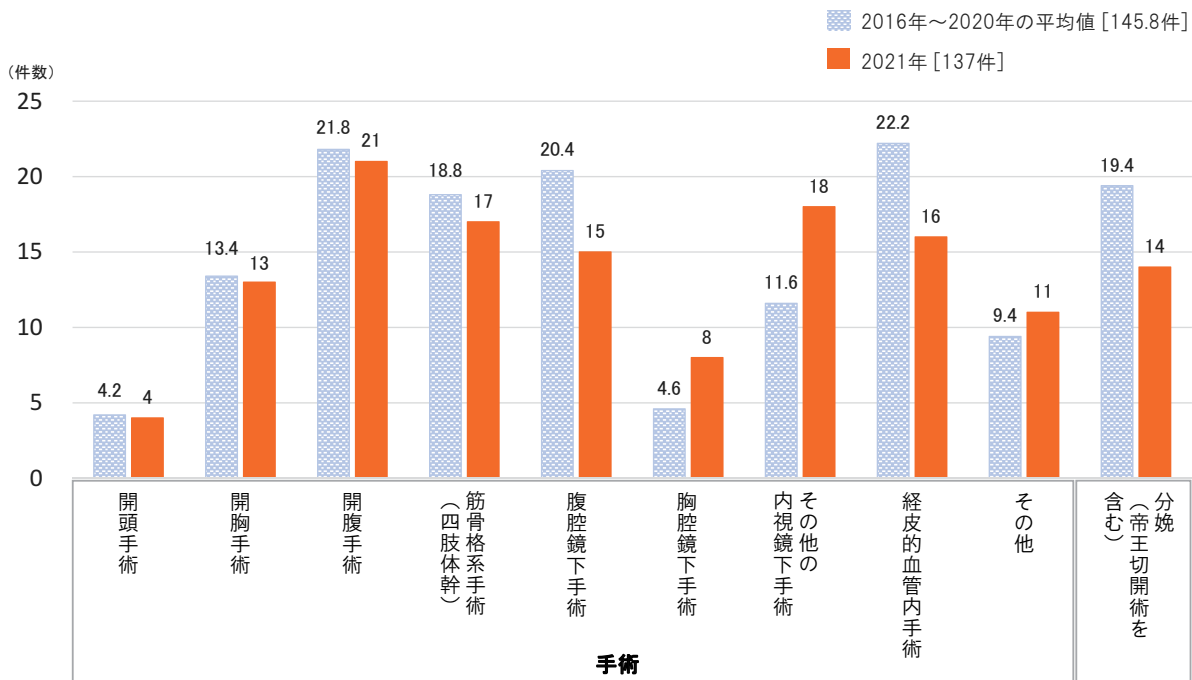


※「起因した医療の分類」は、厚生労働省医政局長通知(平成27年5月8日医政発0508第1号)の別添「医療に起因する(疑いを含む)死亡又は死産の考え方」に基づき、2015年～2017年は医療事故発生報告の内容をセンターが分類、集計したものであるが、2018年1月以降は医療機関から報告された院内調査結果報告の内容に基づき集計している。

制度開始からの状況

病床規模別の起因した医療の分類は、無床では「投薬・注射(輸液を含む)」が30.8%の割合を占めるが、有床ではいずれも「手術(分娩を含む)」が約半数近い割合を占め、特に1～19床では、71.6%が「手術(分娩を含む)」が占めた。

### 17-1. 「手術(分娩を含む)」の内訳 (数値版 3-(2)-②参照)



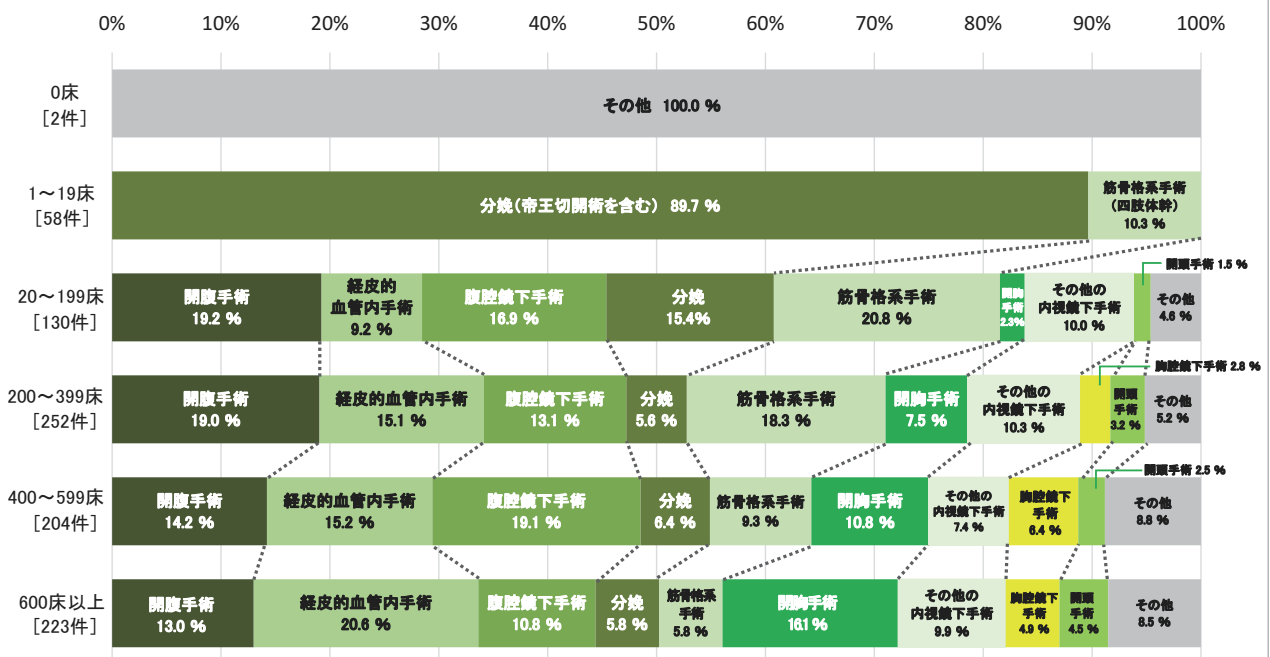
※この集計は、「16-1.起因した医療(疑いを含む)の分類別院内調査結果報告件数」に記載した「治療」のうち、「手術(分娩を含む)」の内訳である。  
 ※手術は、「平成26年患者調査」(厚生労働省)の「病院退院票」における手術名に基づく分類である。  
 ※「その他」には、気管切開術、ペースメーカー植込み術、口腔外科手術、ランゾ波焼灼術等が含まれる。

**2021年の状況**

「手術(分娩を含む)」の内訳で、院内調査結果報告件数が最も多かったのは「開腹手術」21件であり、次いで多かったのは「その他の内視鏡下手術」18件であった。

II 相談・医療事故報告等の現況  
要約版

### 17-2. 病床規模別「手術(分娩を含む)」内訳の割合 (数値版 3-(2)-④参照)

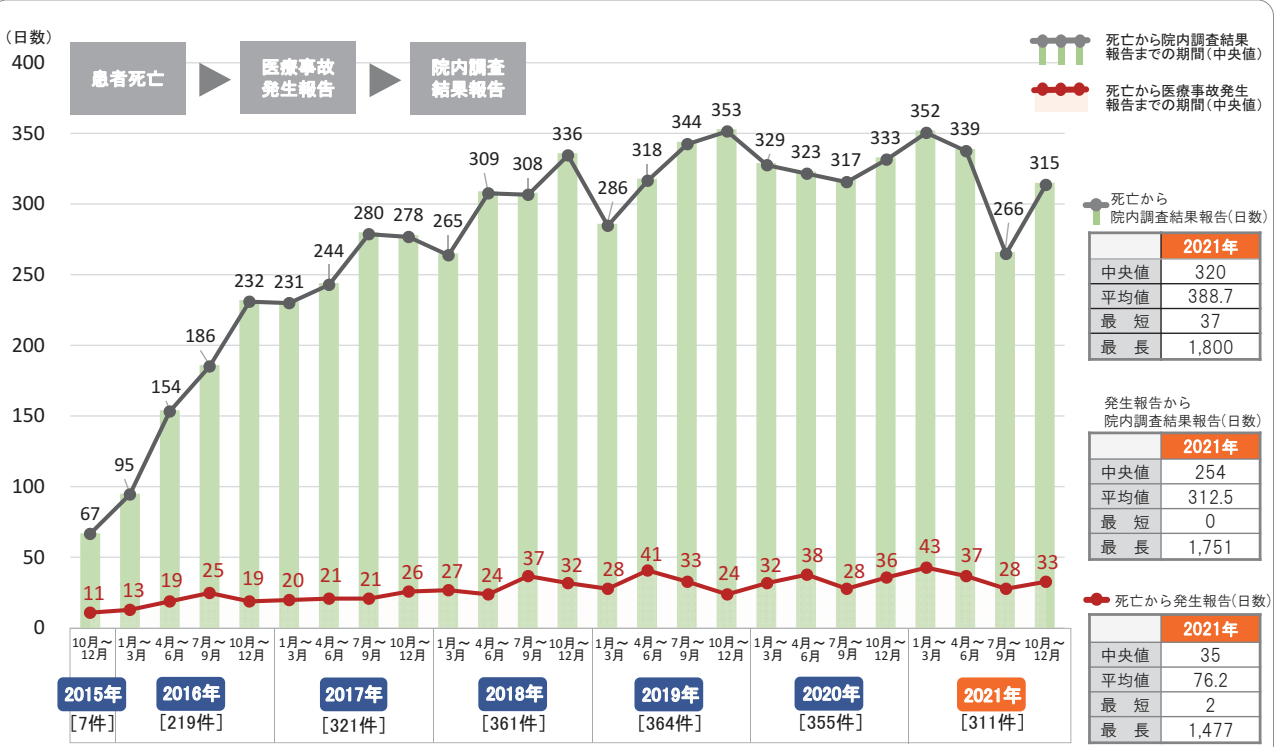


※この集計は、「16-1.起因した医療(疑いを含む)の分類別院内調査結果報告件数」に記載した「治療」のうち、「手術(分娩を含む)」の内訳である。  
 ※手術は、「平成26年患者調査」(厚生労働省)の「病院退院票」における手術名に基づく分類である。

**制度開始からの状況**

「手術(分娩を含む)」の内訳で、院内調査結果報告件数が最も多かったのは、1~19床では「分娩(帝王切開術を含む)」89.7%、20~199床では「筋骨格系手術(四肢体幹)」20.8%、200~399床では、「開腹手術」19.0%、400~599床では「腹腔鏡下手術」19.1%、600床以上では「経皮的血管内手術」20.6%であった。

### 18. 患者死亡から医療事故発生報告および院内調査結果報告までの期間（数値版 参考3-(1)-⑦-i,ii参照）

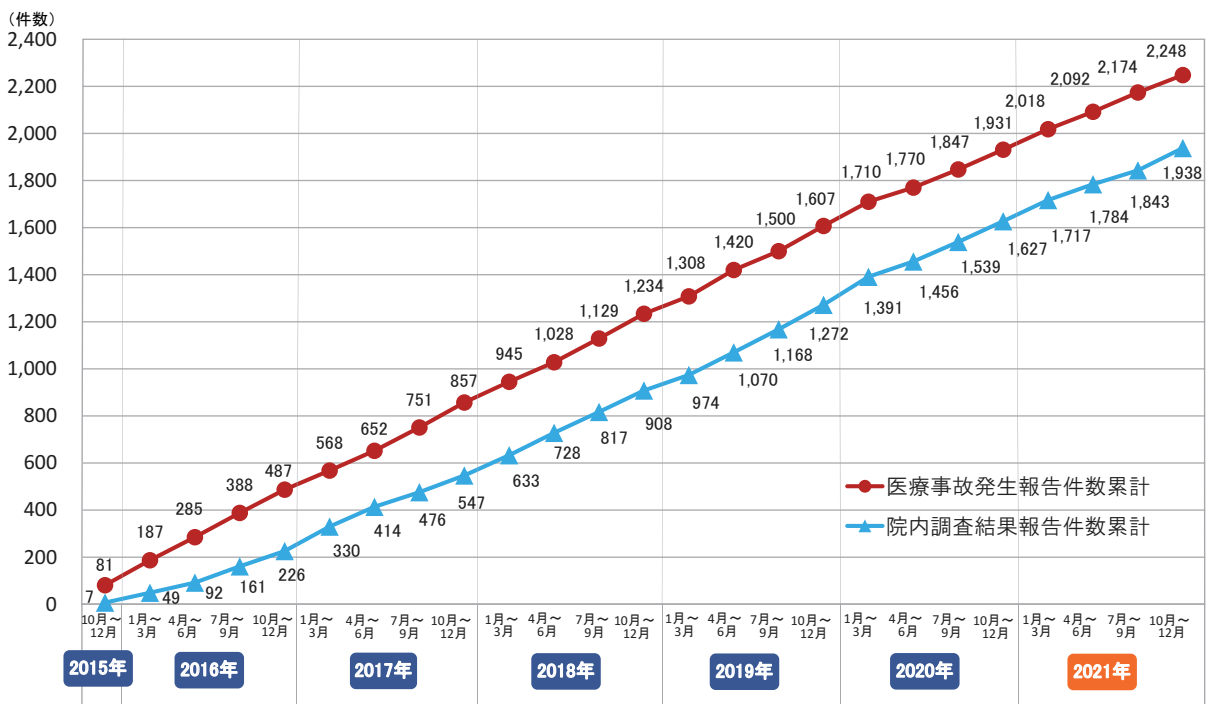


※1か月を30日として集計している。

**2021年の状況** 死亡から医療事故の判断に要した日数の中央値は35日、発生報告から院内調査結果報告までに要した日数(院内調査)の中央値は254日であった。また、死亡から院内調査結果報告までに要した日数の中央値は320日であった。

### 19. 医療事故発生報告件数および院内調査結果報告件数累計の推移

(数値版 参考2-(1)-①-i・参考3-(1)-①参照)



**制度開始からの状況**

医療事故発生報告件数の累計と院内調査結果報告件数の累計は、ほぼ比例しながら推移している。

## 20. 院内調査結果報告までに要した期間とその理由（数値版 参考3-(1)-⑥参照）

（重複計上）

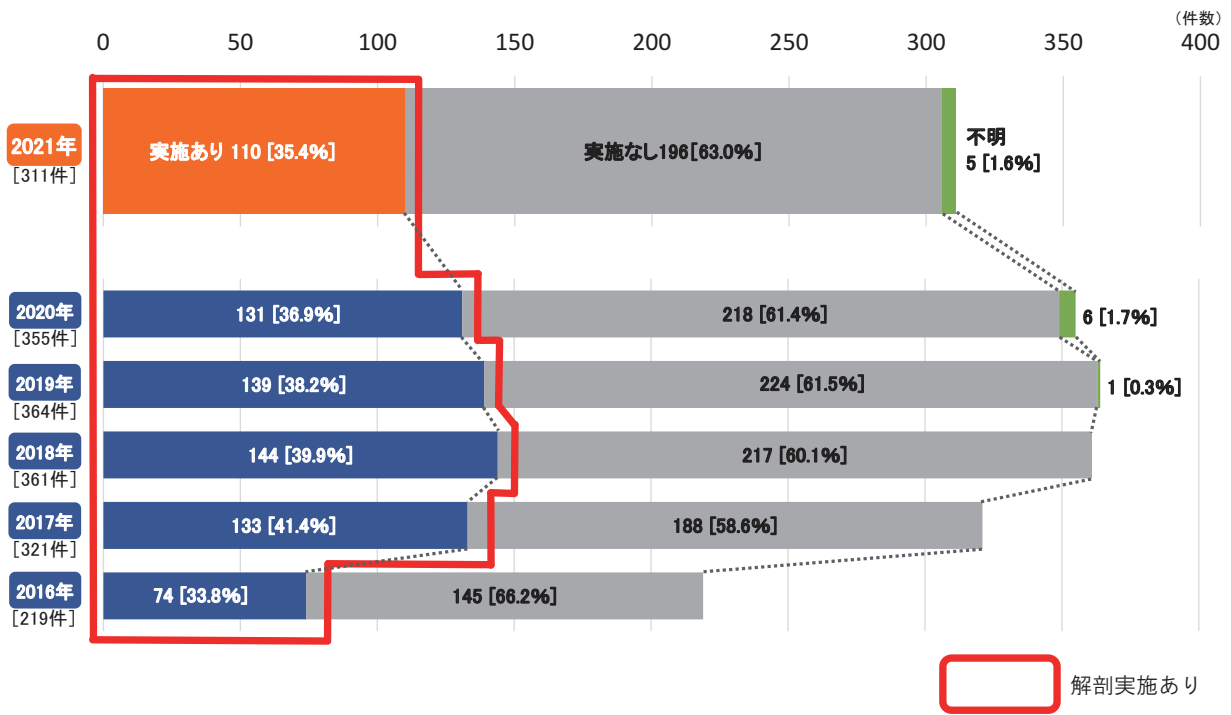
理由		報告までに要した期間	1年6か月以上 ～2年未満	2年以上～ 2年6か月未満	2年6か月以上	合計
制度	制度の理解不足		16	7	7	30
	調査					
	解剖結果が出るまでに時間を要している		5	1	2	8
	外部委員の派遣に時間を要している		15	6	2	23
	委員会開催の日程調整に時間を要している		24	11	3	38
	調査検討に時間を要している		15	8	3	26
	報告書の作成に時間を要している		37	20	13	70
	支援団体との支援調整に時間を要している		2	3	0	5
	複数の報告事例をかかえ時間を要している		1	0	0	1
	他の業務があり時間を要している		1	1	1	3
説明	遺族への調査結果の説明やその後の対応に時間を要している		42	22	14	78
その他	コロナ対応のため時間を要している		12	6	0	18
	担当者が交代したため時間を要している		4	3	5	12
	報告することを失念していた		8	1	3	12
	上記以外の理由で時間を要している		8	2	3	13
特に要因はない			1	0	0	1
合計			191	91	56	338

※2021年12月末時点において、院内調査結果報告のうち、医療事故発生報告を受けてから1年6か月以上要した183件について集計している。  
 ※この集計は、医療機関への照会に基づきセンターが集計したものである。

制度開始  
からの状況

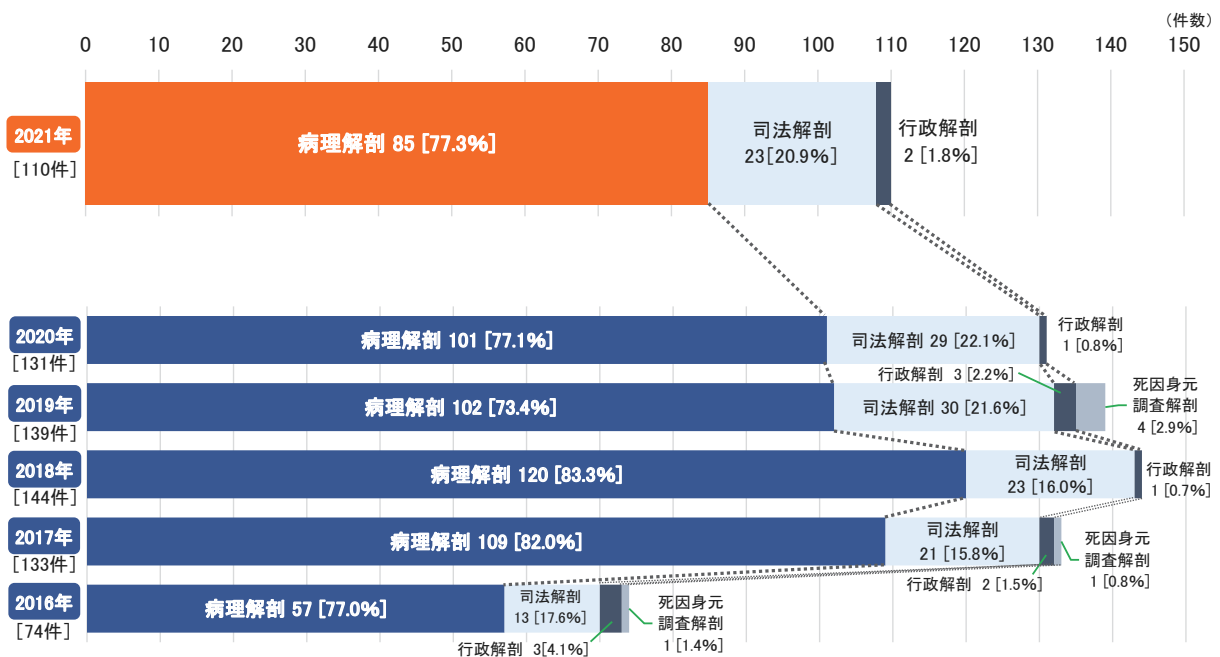
院内調査結果報告までに時間を要した理由は、「遺族への調査結果の説明やその後の対応に時間を要している」が78件で、次いで多かったのは「報告書の作成に時間を要している」が70件であった。

## 21-1. 解剖の実施状況 (数値版 3-(3)-①参照)



2021年の状況 解剖の実施件数は、院内調査結果報告があった311件のうち110件であった。

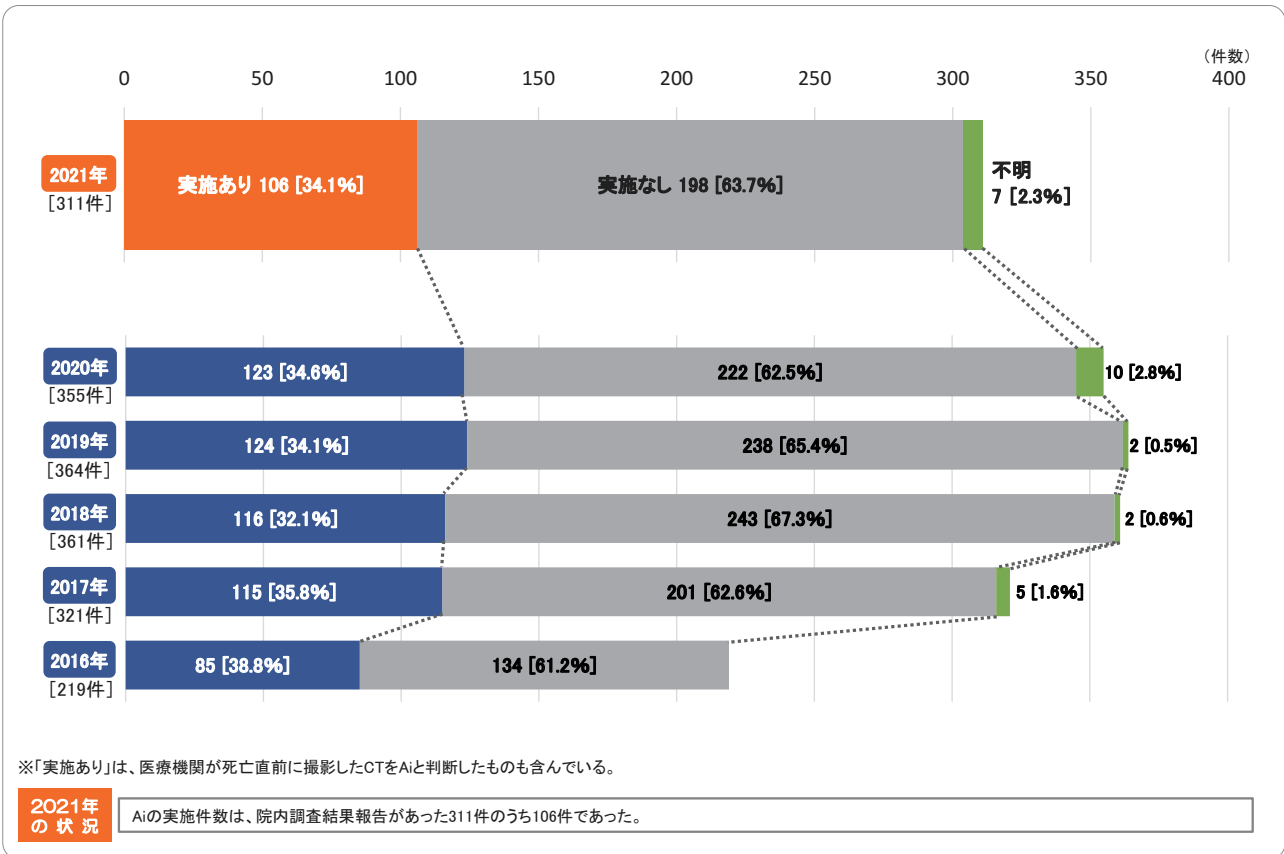
## 21-2. 解剖実施ありの内訳 (数値版 3-(3)-①参照)



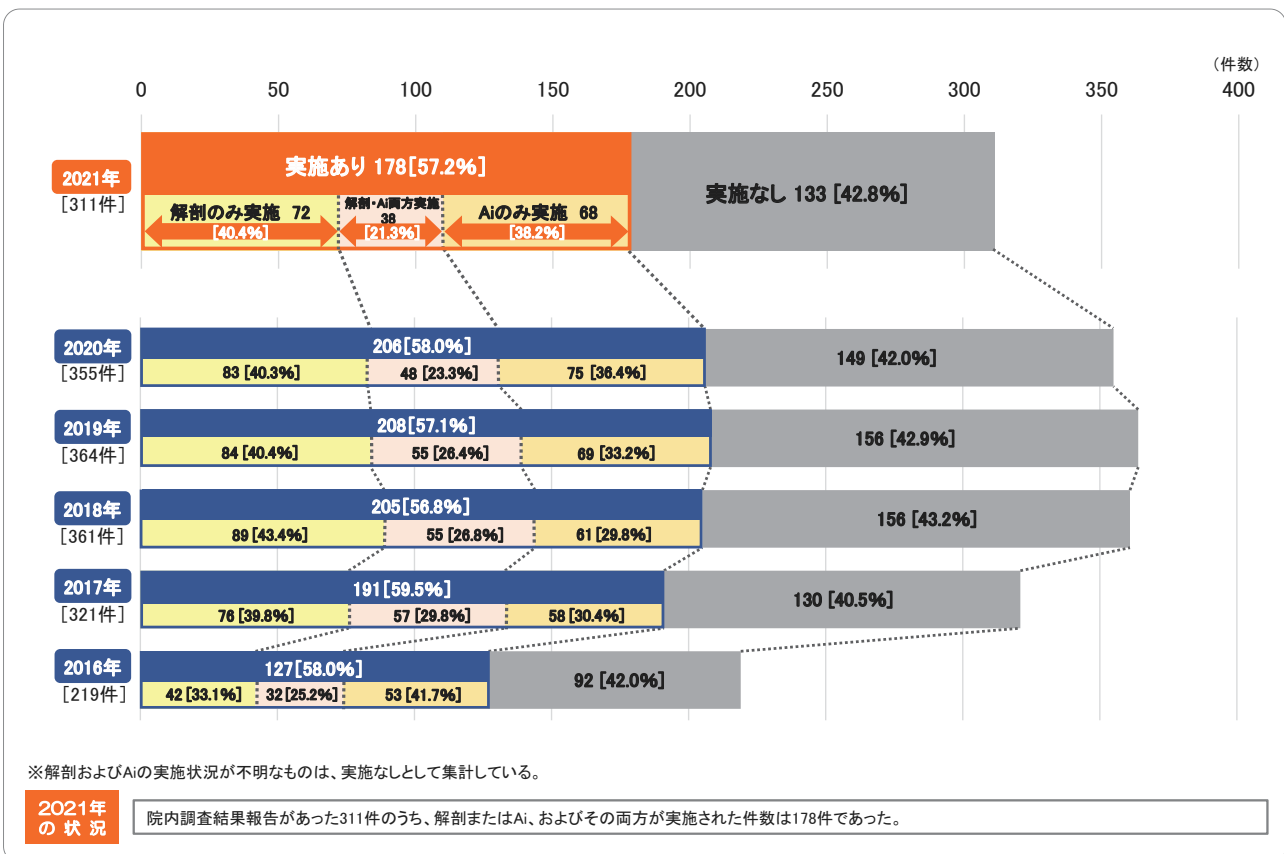
※「死因身元調査解剖」とは、2013年4月1日施行「警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律」に基づく解剖である。

2021年の状況 解剖の実施あり110件の内訳は、病理解剖が85件で、司法解剖は23件、行政解剖は2件であった。

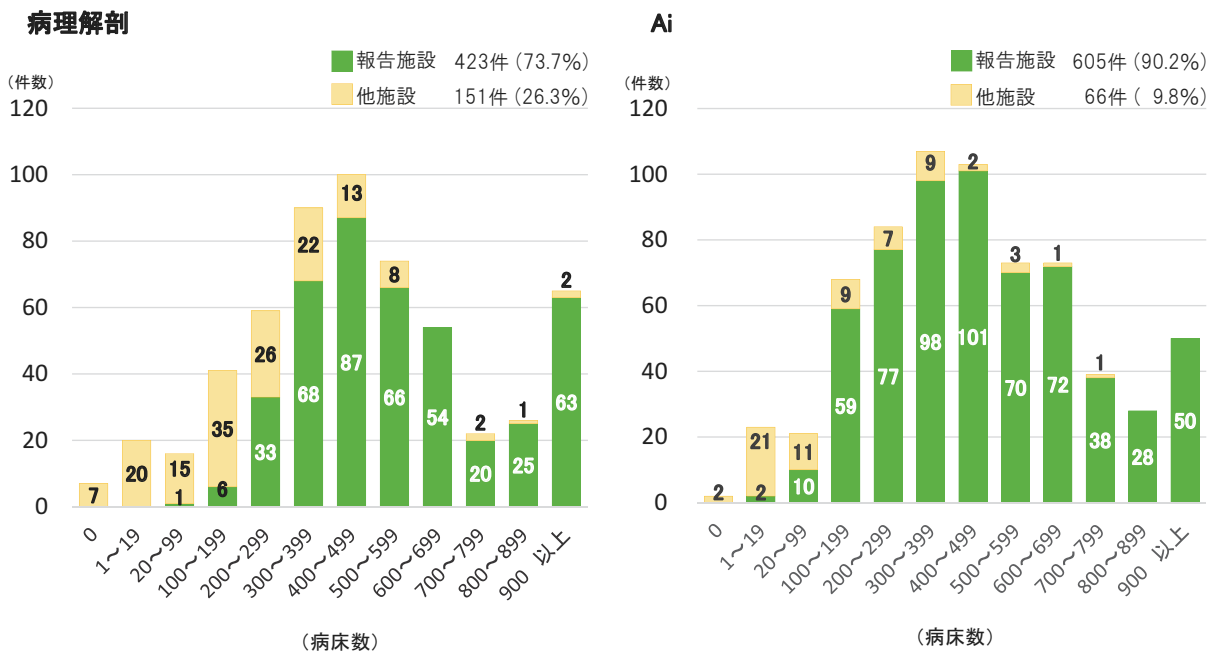
## 22. 死亡時画像診断(Ai)の実施状況 (数値版 3-(3)-②参照)



## 23. 解剖とAiの実施状況の内訳 (数値版 3-(3)-③参照)



## 24. 病床規模別病理解剖およびAiの実施件数 (数値版 参考3-(3)-①・参考3-(3)-②参照)



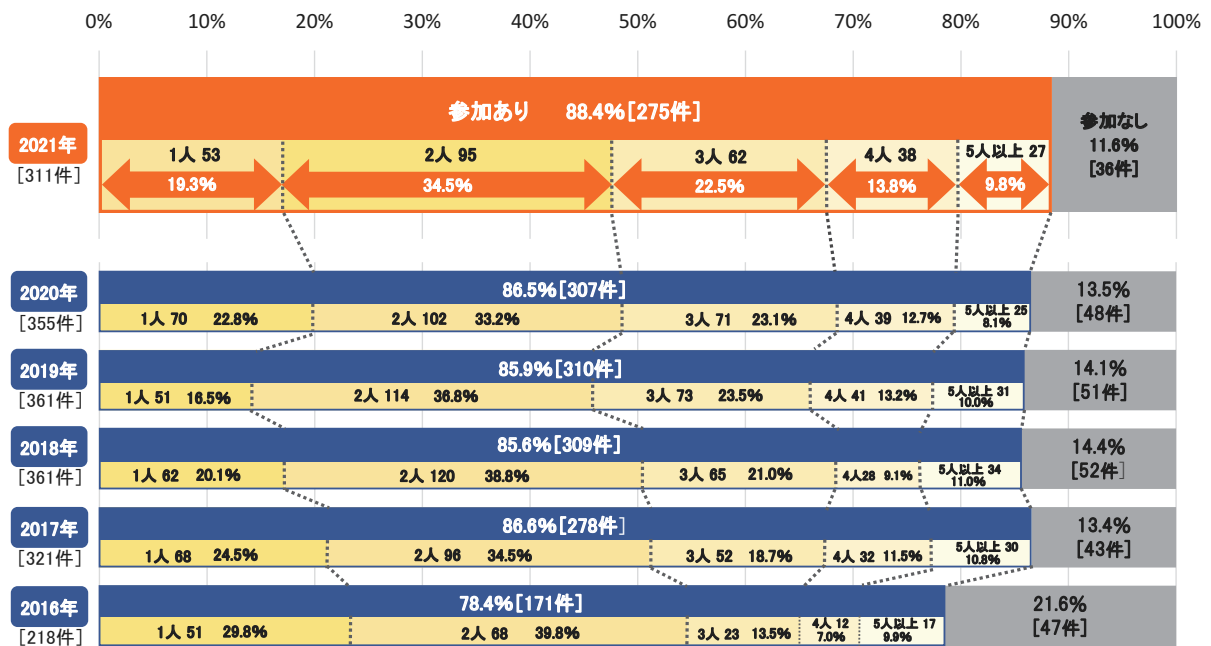
※病理解剖が実施されたものについて集計している。

※Aiが実施されたものについて集計している。

**制度開始からの状況** 病理解剖の実施は574件で、最も多かったのは「400~499床」の100件であった。199床以下の施設では、他施設での解剖実施が多かった。

**制度開始からの状況** Aiの実施は671件で、最も多かったのは「300~399床」の107件であった。全体の90.2%が報告施設で実施していた。

## 25. 院内調査委員会における外部委員の参加状況 (数値版 3-(4)-④参照)

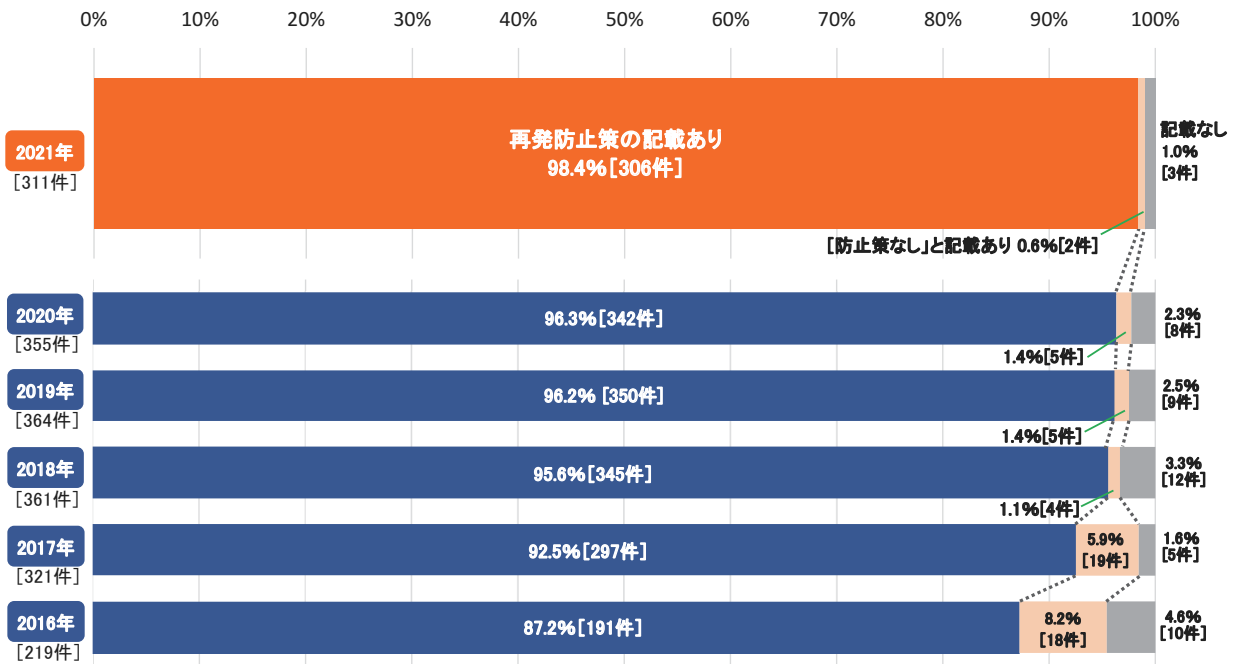


※委員会の設置がなかったものを除いて集計している。

**2021年の状況** 院内調査委員会の開催があった311件のうち、外部委員の参加があったのは88.4%(275件)であった。そのうち参加人数は「2人」が34.5%と最も高く、次いで「3人」が22.5%であった。



## 26. 再発防止策の記載状況 (数値版 3-(5)-①参照)



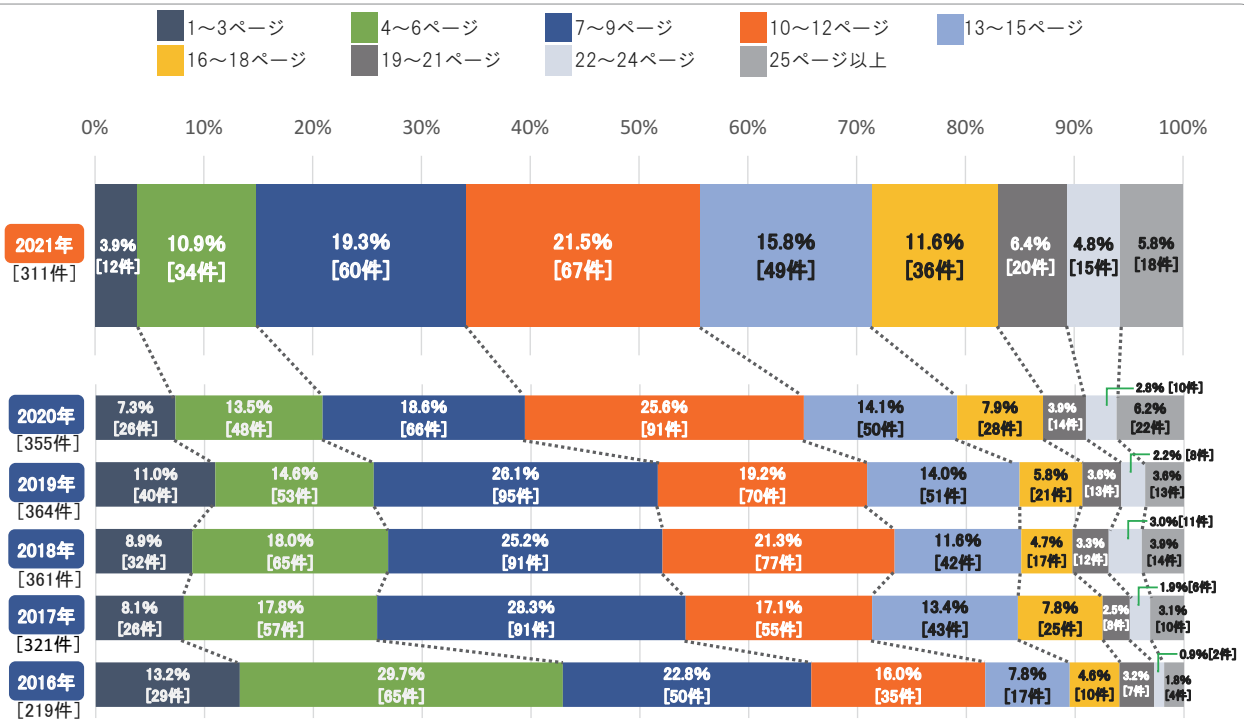
※「記載なし」とは、院内調査結果報告書に再発防止策の記載がなかったものである。

2021年の状況

院内調査結果報告があった311件のうち、再発防止策の記載があった事例は306件であり、全体の98.4%であった。

II 相談・医療事故報告等の現況  
要約版

## 27. 院内調査結果報告書のページ数 (数値版 3-(7)-①参照)



※院内調査結果報告書の表紙、目次、添付資料などを除いたページ数をセンターが集計したものである。

2021年の状況

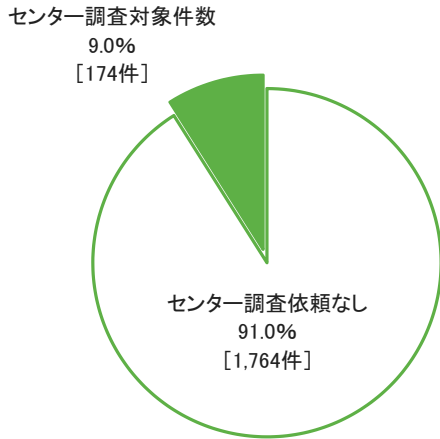
院内調査結果報告書のページ数は「10~12ページ」が最も多く21.5%(67件)であった。

# センター調査の状況

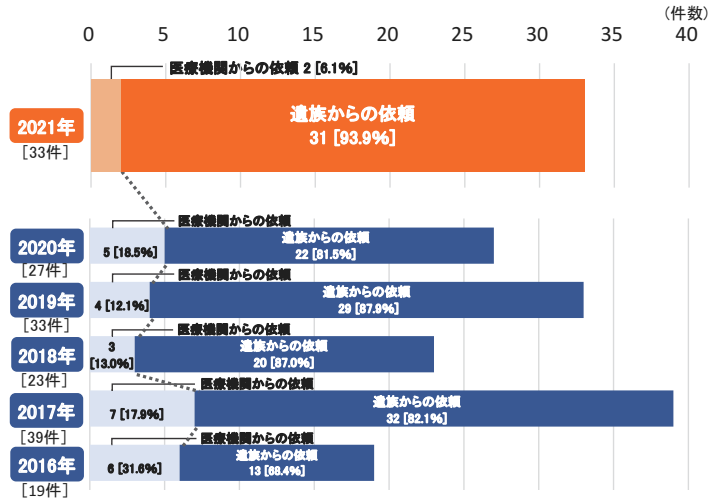
## 28. センター調査対象件数と依頼者の内訳 (数値版 4-(1)-①・②参照)

### 1 センター調査対象件数

院内調査結果報告件数(累計) 1,938件



### 2 依頼者の内訳



※2015年10月～12月はセンター調査の依頼は0件であった。

#### 2021年の状況

院内調査結果報告件数の累計は1,938件であり、センター調査対象となった事例は9.0% (174件) であった。センター調査の依頼は33件であり、依頼者の内訳は、「医療機関からの依頼」が2件、「遺族からの依頼」が31件であった。